

## 指先や手先を使って

# 『あそぶ』ことで育つ力

～子どもはあそぶことで発達します～

0才児

ひよこぐみ 

2020年9月

感触を味わったり、大きさや量、色や形を知ること、その性質に合った手先の器用さを身につけようとしています。



うーん...



はいった!



とれた!



小さなものをつかんだり、動かすことに慣れることができます。また、手先の機能訓練にもなり、集中力が身につきます。

決まった場所に入れることで、指先の細かい発達と、仕組みの理解力、集中力、思考力を育てます。



食事のときにスプーンを上手に持てるよう遊びの中で練習しています。



かんばんー!



# からだをいっぱい動かして

押膝の屈伸や片側に重心をかけたりにして足で体を支えることを助けます。



押しながら歩くことで、バランス感覚が養われたり、体感が鍛えられます。



動くものに興味を示し、触ろうとする欲求が出てきます。



トンネルをくぐることで、空間の知覚を助けます。また、斜面を登ることで掌が開いて、身体を支えます。



ローラーを押して歩くようになると、カタカタと鳴らす音が前後で聞こえてきます。これは、空間の認識やバランス感覚を養います。

